



全被造界のいのちを心にかけて

2020年12月

大胆に応答し、
2019 総会の決意

サリー ハーバー、CSJ 修道会リーダーシップチーム



待降節は、しばしば待っている時間といわれます。ですから、疑問が起こります。

ですから、私たちは何を待っているのでしょうか。

伝統的に、待降節は人となられたイエスの来臨を再度祝う準備をして待つことを言います。：

エマヌエル、神は私たちと共に：

み言葉は人となられた。

しかし、それは2000年も前に起こったこと。

ですから、私たちは何を待っているのでしょうか。

受肉は、クリスマスの祝日で終わりませんでした。

イエスは、私たちに、「私があなたがたを愛したように互いに愛しなさい」と日々の生活で受肉するよう呼びかけます。

ですから、私たちは何を待っているのでしょうか。

”イエスの愛“を生きる方法は、総会の呼びかけに表現されていて、以下のことを聞く時、理解されます。：

- 共に暮らす家のケアを強化する。
- 人間性の認識と尊厳さを現実のものとする。
- 教会と社会における女性の受け入れに向け、取り組む。
- 私たちを取り巻く声に耳を傾け、対話を招き、私たちに考えさせ、異なる行動をとるよう呼びかける。
- 上記で述べられたことは、私たちの誓願生活/約束を生きる理解を広げ、深め、全てを含む神の愛の夢について認識し、表現する。

ですから、私たちは何を待っているのでしょうか。

コロナ禍の終息のために？

以前の生活“通常”に戻るために？

より良い政府のために？もっと献身的な教会のために？

暖かい、または涼しい天候のために（住んでいる半球に拠る）？

待降節に、この問いを熟考し、正直に答え、何らかの方法を見つけ、2021年には日本、ペルー、チリ、アメリカで神の愛を生み出すために何が必要なのか、すべきことは何かを決定する良い機会です。

ですから、私たちは何を待っているのでしょうか。

省察のための質問

1. 2020年、あなたが待たなかった時、あなたが取った行動は何ですか。
2. 2021年、待ち時間を超過し、通常の生活の中でやりたいことは何ですか。

[あなたの答えをこの簡単なオンライン調査で分かち合ってください。](#)

待降節実行の可能性

ロリー トゥルーの曲を聴く/歌う：[“Wage Peace”](#)

目覚めるよう呼びかけるスペイン語の歌を学ぶ：[Despierta, tú que duermes](#)

目を覚まして待て：[Yuta Nakayama](#)